



国道387号町田バイパス開通式で元気に踊る園児たち(南山田こども園)

議会だより **ここのえ**

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成26年1月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

No.104 2014.1.17発行

12月定例会

- 25年度補正予算及び追加議案 P.2
- 新年のごあいさつ P.3
- 常任委員会報告 P.4
- 一般質問 9名 P.6
- わたしのひとこと P.11

茅原小野 佐藤久仁夫^{さん}

湯坪下 武田 清延^{さん}

- おでかけ議会報告 P.12

本定例会は12月4日から20日までの17日間開催されました。議案11件、
発議2件、請願2件、陳情3件、慎重に審議しました。

平成25年度
一般会計補正予算
(第4号)

補正額 4億 797万1千円追加
補正後予算 69億8,582万9千円

◆補正予算ピックアップ

歳入

○地方交付税 4億9,640万円 (補正後の額 26億9,640万円)

歳出

- 備品購入費 (955万5千円)
職員のパソコン78台購入
- 保育園施設費 (47万2千円)
都原の森林組合製材所跡地に建設される総合こども園の設計プロポーザル
(設計業者選定手続き)に係る予算
- 有害鳥獣捕獲報償費 (210万円)
いのしし、鹿の捕獲増による
- 飯田中学校閉校事業補助金 (100万円)
- 野上小学校体育館大規模改造事業費 (1億5,114万8千円)
(財源) 国庫補助金 5,090万1千円
町有施設整備基金 500万円
教育債 9,400万円 (80%が交付税に算入される)
一般財源 124万7千円
- 町有施設整備基金積立て (2億3,100万円)
地方交付税の増額に伴い、積立金を増額

Q 障害者支援相談事業

障害者支援相談事業

Q 区長の声を聞く時期は、予算執行の前でなければ意味がないと思うが。
A 当然そうなる、計画もあるので早いうちに行う。

Q 何度も説明会を開催したが出席者は少なかった。東飯田地区より反対の陳情も出ているが計画は進める。今後、区長会で、理解を求める場を設け、住民の理解に努める。

こども園の統合

Q こども園を統合するための予算が計上されているが、22年度までは、こども園は各地区に建設されることになっていた。方針の変更にあたって、町民に対し、統合こども園の候補地に関する説明を優先させ、重要な統合そのものについて説明不足で、住民は不信感をいだいているが。

A 町単独でなく、近隣自治体と取り組んできたが、専門相談員不足等により事業所委託が困難になったためであった。

Q 必要な事業であり、今後はどうするのか。
A 再度、事業実施に向けて取り組む。

補正予算

Q & A

平成25年 第4回臨時会 11月14日

- 保育園施設費 (62万5千円)
旧飯田中学校校舎跡地の一部に建設されるこども園の設計プロポーザル(設計業者選定手続き)に係る予算
- 債務負担行為 (1,900万円)
(26年度に予算計上)
飯田こども園建設事業設計委託料

新年の ごあいさつ



新年明けましておめで
とうございます。

皆さまには輝かしい新
春をお迎えのことと拝察
し心よりお喜び申し上げ
ます。議会を代表いたし
まして新年のごあいさつを
申し上げます。

平素より、議会活動には
ご理解とご協力を賜り深
く感謝を申し上げます。

私ども町議会は町民の
皆さまのために何ができ
、何をすべきかを常に念
頭に置き、町民の皆さま
の生活と福祉の向上に寄
与するよう努力していき
ます。

議会改革の二環として始
めた「お出かけ議会」も3
年目を向かえます。今後
とも議会活動に皆さまの
ご意見をいただき、議会
はもちろん町長の提唱す
る「日本一の《住みやすい
田舎づくり》」めざして議
員一同努力して参ります。

平成26年が皆さまにと
りまして新たな飛躍の年
になるよう、そして皆さ
まのご多幸をお祈り申し
上げまして新年のごあい
さついたします。

議長 坂本憲治

人事案件

人権擁護委員 推薦に同意



(引治)

日野 喬雄氏

現、人権擁護委員の日
野喬雄氏(引治)の任期
が、26年3月31日で満了
となるため再度、同氏を
人権擁護委員の候補者と
して法務大臣に推薦する
ことに同意しました。

国に対して 意見書を提出

JAからの
請願を採択
TTP交渉

容器包装
リサイクル法
改正に向けて

TTP決議の実現を求
める意見書については、
「TTP決議の実現を求
める請願」が、玖珠九重
農業協同組合と九重町飯
田農業協同組合より提出
されました。

九重町議会も、この趣
旨には賛同しており、意
見書を提出することで意
見の一致を見ました。

なお提出した意見書の
主な内容については以下の
通りです。

(1) 重要5品目の関税撤
廃が除外できない場合
には、即事交渉から撤
退すること。

(2) TTP交渉、日米二カ
国間交渉など各国と
の交渉内容を開示す
ること。

容器包装リサイクル法
を改正し、発生抑制と再
使用を促進するための法
律の制定を求める意見書
については、現在のリサイ
クル法が、リサイクルに必
要な費用の約8割を自治
体が税負担で分別収集を
しており、資源の無駄遣
いや環境負荷を減らすた
めにはデポジット制度の導
入や事業者責任の強化が
不可欠となっています。

九重町議会は持続可能
な社会への転換を図るた
め容器包装リサイクル法
を改正し発生抑制と再使
用を促進するための法律
を制定することを強く求
めるため意見書を提出し
ました。

総務建設産業常任委員会 審査報告

議案
5件

過疎地域自立促進計画に

次の事業を加える

農業関係

① 県営農業水利施設保全合理化事業（水路改修） 事業費約3億円

② パプリカ生産施設整備事業 事業費約12億円

③ 夏いちご生産施設整備事業 事業費約1億5千万円

④ 野菜苗生産施設整備事業 事業費約5300万円

町道整備

⑤ 町田小園線道路舗装改修工事 370m 事業費1800万円

⑥ 湯坪地蔵原線道路舗装改修工事 330m 事業費1800万円

⑦ 吉部線道路舗装改修工事 410m 事業費1800万円

⑧ 菅原線道路舗装改修工事 330m 事業費1800万円

⑨ 西野小池線道路舗装改修工事 360m 事業費1000万円

⑩ 後本村線道路改良舗装工事 340m 事業費4200万円

橋梁長寿命化

⑪ 野上釘野線 西小橋 橋梁長寿命化対策改修事業 3・5m 事業費550万円

⑫ 平家山線 妙香橋橋梁長寿命化対策改修事業 7・5m 事業費850万円

⑬ 馬渡線 馬渡橋橋梁長寿命化対策改修事業 8m 事業費640万円

⑭ 吉部線 吉部第2橋 橋梁長寿命化対策改修事業 5・4m 事業費720万円

⑮ 筋湯線 大湯橋橋梁長寿命化対策改修事業 9・5m 事業費520万円

水道・耐震

⑯ 飯田簡易水道改修事業

⑰ 建築物耐震化促進事業 昭和56年以前に建設された床面積5000㎡以上の建築物の耐震診断結果の公表が義務化されたもの。（町内該当は2軒の旅館が該当の予定。）

文教施設

⑱ 小学校普通教室等空調設置工事（エアコン設置）

平成26年度 事業費2800万円 東飯田小学校・南山田小学校・淮園小学校

平成27年度 事業費2800万円 野上小学校・野矢小学校・飯田小学校

⑲ 平家山集会所改築事業 事業費約2000万円

⑳ 湯坪基幹集落センター改修工事 事業費約1300万円

「過疎地域自立促進計画って何？」

この計画は、過疎地域自立促進特別措置法によって定めるものですが、具体的には、町の将来を見据え国からの補助等も含め財政的にも、計画的な事業を実施するため事業に取り組む前の段階でこの計画にあげることによって、より安定し、計画的な事業実施を行うことができます。



由布市のパプリカ生産施設を視察

条例の制定及び 一部改正を 次のとおり 可決しました。

九重町職員の再任用に
関する条例制定は。

平成25年度以降定年退職する職員が年金の報酬比例部分の支給年齢に達するまでの間、再任用を希望する者について再雇用するもので、若年者の雇用の妨げにならないよう配慮していることから可決しました。

職員給与に関する条例の一部改正は。

国家公務員の55歳を超える職員の昇給抑制を行うことが決定したため、九重町も同様の措置を講じるものであり可決しました。

町税条例の一部改正は。

地方税法が改正され、年金の所得に係る個人の町民税について、年金に係る仮特別徴収額の見直しや上場株式等に係る配当所得等の利子が対象にされたことに伴う改正であり可決しました。

国民健康保険税条例の一部改正は。

地方税法が改正され、上場株式等に係る配当所得等の利子が対象にされたこと等に伴うものであり可決しました。

みなさんからの陳情は こうなりました。

社会福祉法人 玖珠会
理事長職務代理者 小畑
順一氏からの養護老人ホーム
亀鶴苑の建て替えに伴
う陳情は。

現在地の危険性や湧水による安全面、生活環境面の問題を理由に移転し、建て替えを望むものであります。前回の委員会では、施設の老朽化や入所者の安全面の確保・利便性向上のためにも早急な建て替えが望まれること。また、昨今の異常気象による河川氾濫等の災害の危険性を考えると、現地から移転することについては一定の理解が得られています。これまでに「亀鶴苑」が高齢の生活困窮者等の養護施設として果たしてきた功績は大きく、足立氏が私財を投じて施設を設立した背景に対する配慮や、町内の貴重な雇用の場としての位置づけからも町内に残すべき施設であり、建設用地等課題もあります。が、現地からの移転を要望する願望そのものは理解できることから、「趣旨採択」としました。

木納水区長、日野英敏氏からの町道認定を求める陳情は。

現在私道として管理されていますが、管理者以外の地区住民も、日常的に生活道路として利用しており、改修に必要な用地も確保されていることから採択しました。

須久保区長、永尾宗忠氏からの町道認定を求める陳情は。

現町道が狭小で普通車以上の通行に支障をきたすため同地域にある土地改良区管理の農道が日常的に利用されている現状もあり、土地改良区の同意もあることから採択しました。



須久保現地視察



木納水現地視察

ずばり町政を問う



地域の方々と門松づくり「放課後子ども教室 宝っ子“夢”フィールド」

夜間議会開催 9名の議員が質問

- ◆ 公民館職員の考え方は…………… 反省を踏まえ検討する
- ◆ 企業誘致・対応不十分だ…………… 条件整備が優先
- ◆ 大吊橋収益を町民に見える形で …… 結果的に町民のため
- ◆ 景気対策はどうする …………… 速攻性のある事業を行う



土井眞一郎

● 公民館職員

土井 新設した公民館職員、当初の目的からみて命令権に問題はないのか。

町長 地区協議会の支援として、位置づけており、企画調整課の担当。

公民館業務は、社会教育課の担当だが、日本一の田舎づくりを行うために併せている。

土井 日本一の田舎づくりは、町民に実感がない。現場職員の意見を聞く場が重要である。行っているか。

町長 今は行っていない。今後、現場の声を聞き、反省を踏まえ検討する。

● 企業誘致

土井 町民の最大の望みと思われるが、今の対策では効果がない。庁内にプロジェクトチームを作ってもやるべき。

町長 企業も条件に希望があり、厳しい現実だ。まずは用地確保等の条件整備を優先させたい。

土井 やる気が見える取り組みを望む。

● 大吊橋の収益

土井 吊橋の収益は町の基金（貯金）に積むなど、ハード事業中心だが、町民に見える形の活用を望む。

町長 理解できるが、ソフト面の活用となると途中で止めることはむずかしい。

ハード面の活用により結果的に町民のためになる。検討はする。



入場者が800万人を超えた「九重“夢”大吊橋」

● 景気対策

町長 国に期待、町としても対策が必要である。

速効性のある事業に取り組み公共料金の引上げを極力抑さえ町民負担を軽減したい。



佐藤 勝憲

◆ 椎茸種駒・補助金の今後は……県の補助と合算で

◆ 民生委員への情報提供が不足

◆ 豊後中村住宅集会所予定地

…可能な範囲で関係者と協議

● 椎茸種駒補助の今後は

佐藤 椎茸農家にとって、一駒一円の補助は本当に助かっている。今後の対応は。

町長 県が本年度より3年間50銭の補助をはじめた。町の補助も継続で検討中である。

佐藤 県が50銭、町は別枠で一円を継続するべきでは。

町長 本来、補助期間は3年だが延長したい。額は、県と合算で一円と考えている。

佐藤 生産面だけでなく、価格補償制度や販路拡大をどう考えているか。

町長 OSK（大分県椎茸農業協同組合）や近県で組織する連合協議会で検討をお願いしながら、町としても意見していきたい。

● 民生委員への情報提供

佐藤 町民のため、重要かつ大変な活動をして頂いている民生委員に對

し、提供する情報が少なく、活動の支障となっている。個人情報扱いはどうか。

町長 「本人の同意が必要」という大前提があり、むずかしい。

法に基づいた活動であり、可能な限り民生委員には、情報提供していく。

● 豊後中村住宅集会所予定地

佐藤 建設予定地にある民家の扱いが放置されたままであり、関係者との協議を早急にやらないと問題発生の可能性もあるが。

町長 過去の経過もふまえて、関係者と協議している。



話し合いをする民生委員



藤原 三治

◆ 国道の安全対策 ……管理者、公安委員会に強く要望

◆ 除雪対策は十分か……昨年以上の対策をとる

◆ 観光振興について ……町のホームページとも連動させたい

● 国道の安全対策

藤原 南山田の川底及び富迫付近は、危険箇所が多い。対策はしているか。

町長 公安委員会の判断による所が大きいが、不安もある。地元の声とともに土木事務所に確認をしている。

藤原 犠牲者が出てからでは遅い。通学にも支障がある。横断歩道以外にも、必要な設備があるのでは。

町長 路面への対策は一月にやると聞いている。また他の要望があれば対応するとの回答を受けている。

● 除雪対策は十分か

藤原 経費はかかっても、町民の安全のため大切。除雪作業への対応は。

町長 昨年までの取組みに加え、脱着式除雪装置を購入。更に2名の臨時職員による直営除雪が可能になり、対応は充実できる。

藤原 効率的に行うため、建設業者などと協議したのか。

● 観光振興について

藤原 町の景観を生かした、撮影ポイントをアピールしてはどうか。

町長 フォトスポットには駐車場が必須条件であり、現在、町に8ヶ所ある。今後は、町のホームページでも紹介するなど、アピールしていきたい。



フォトスポットから見た涌蓋山

◆新設高校

地元入学希望者を増やす方策は…地元の意識向上が必要
施設面に不備はないか……………県教委に質す

◆南山田公民館の建替え……………計画案を示す



小川 克巳

●新設高校に向けて

小川 町内中学生が地元高校に行くための推進策は。

教育長 様々な準備会、協議会、連絡会をはじめ、中学と高校生の交流事業も増やし、地元高校選択を推進している。

小川 地元高校への進学が落ち込む心配があり、先生方の対応が重要だと思う。由布高校など、他市町村を参考にしているのか。

教育長 情報は頂いているが、即活用は厳しい。この件における郡民大会の参加状況を見ると、再度開催し、意識を高める必要も感じている。

小川 現在、中三の進路希望状況はどうなのか。

教育長 8月時点では、地元高校への希望は厳しい状況にある。

小川 再度、郡民大会を開催し、生徒、保護者、関係者の意識を上げるべき。また、新設高校の施設面の不安も多いと考

えるが。

町長 県教委から具体的提案は3月になるが、教室は改修、グラウンドは買収により拡張と聞いている。引き続き、県教委に不備は質していく。

●南山田公民館の建替問題

小川 築45年、老朽化も激しく、危険性、活用面からも早期建替えが必要であるが。

町長 計画では、27年までとなっており、具体的な案を、今定例会中に説明したい。



27年4月開校の新設高校予定地

◆人口減少対策の状況と今後は……………新たな取組も検討

◆定住一万人

◆日本一の田舎づくり

◆地場産業の活性化は……………JA等と協力していく

プロジェクトの状況は



池部 俊慈

●人口減少対策の状況は

町長 都原、中村の住宅事業や民間住宅の家賃補助を継続。今年度は、子育て世帯向けの住宅建設を行い、今後も新たな取組を調査・研究する。

定住一万人 交流二万人

●日本の田舎づくり プロジェクトは

池部 庁舎内のプロジェクトチームにより、様々な計画があるが効果がなければ意味がない。現状はどうなのか。

町長 「夢の休日」事業は外国人の誘致を目的に、一泊二日で九重町を体験してもらった。今後アンケートを基に充実させたい。「町内バスツアー」は、月毎に参加者は増えている。「しあわせ応援隊」は若い職員で結成、婚活イベントを開催し、今後も、若者団体と交流を続けたい。「行政講座」は職員が地域へ出向き意見交換する

事業だが、実現には到っていない。今後実施したい。



“九重しあわせ応援隊”のメンバー

●産業振興を どうする

池部 企業誘致が厳しい状況の中、地場産業の振興についての考え方はどうか。

町長 農業、観光ともに厳しいのが現実である。原因はやはり、所得が上がらないことにある。しかし農協の直販で成果を上げている例もあり、厳しい現実はあるが、今後は、農協などの協力を進めていきたい。

池部 町内の農業、商業、観光の連携による可能性もあると思う。庁舎内の連携をもっと深めて欲しい。



井上 里子

旧中学校跡地利活用についての検討結果は ……… 結果が出たので議会に説明し最終的にまとめる

● 旧中学校跡地の活用方針は

井上 町が各地区協議会

に依頼していた旧中学校跡地の利活用案は今年2月には町に提出済みだったが、町から活用方針がなかなか示されなかったため、私は6月定例会で、

「町は迅速に対応すべきではないか」といった内容を中心一般質問をした。答弁は「庁内検討委員会を設置したので、結果がまとまったら、議会に報告し協議したい」ということと、「学校跡地の整備だけでなく、幼保一体化施設の整備、公民館の改修等に、概算で、20数億円の莫大な予算も必要

と思われるので、財政規律を守りながら、財源の確保にも努めながら5年間程度の事業計画を早急に策定したい」ということだった。

答弁から6カ月になる。庁内検討委員会での検討結果と、関連施設整備のための5年間程度の事業計画の策定はどうなっているか。

町長

庁内検討委員会の結果が出てきたところである。まだ急がなくてよいものもあるが、まず、中学校跡地をどうするか、総合こども園と飯田地区の幼保一体化施設の整備、3地区公民館や体育館をどうするか、全てで、27億円ぐらいの事業費で、5年間でやろうという計画ができたので、本定例会最終日(12月20日)に議会全員協議会で説明し、意見をまとめて、パブリックコメントも受けながら、最終のものにしていく。

※もう一点次のことについて質問しました。
「このえ学園構想」の目指すものとその内容について



跡地に飯田こども園が建設される旧飯田中



佐藤 博美

- ◆ 空家バンクの現状…………… 関係者の協力が必要
- ◆ 定住促進が不十分だ…………… 先進事例の視察も
- ◆ 町の住みやすさ、もっと発信せよ…………… 都市圏を重視

● 空家バンクの現状は

佐藤 空家活用事業

の状況は。

町長 現在、賃貸3件、売買1件である。

町内180物件が利用可能であり、関係者の協力が必要だ。

佐藤 竹田市は75世帯を受入れ、7割が40

歳代以下であり、高齢化の低下、活性化につながっている。

我町は取組む意欲が不足しているのでは。

町長 竹田市は様々な積極策を行っているので、実際に研究をしたい。

佐藤 空家改修補助は借主が対象だが、効果を上げるため家主にも支給すべきでは。

町長 有効だと思うが、不正受給などのトラブルを抑えるため、実現は厳しい。

佐藤 商工会青年部の婚活イベントに対する補助のあり方は妥当なのか。

定住につながる活動に対する補助は、使いやすい制度にすべきでは。



商工会青年部主催の婚活パーティー

● 我町の住みやすさ もっと情報発信せよ

町長 指摘もあり、今後、内部検討を行う。

佐藤 我町には沢山の魅力、住みやすさがあるのに、情報発信、PRが不足しているのでは。

町長 ホームページで行っているが、今後は都市圏への発信も重視していく。

● その他の質問

○鳥獣害対策

○椎茸農家への支援

○畜産振興

執行部に対して取り組む姿勢を質しました。

有吉 富生



- ◆ 町営住宅の現状、今後の計画……年度を定め計画的に行う
- ◆ 減反政策の成果と課題……国の動きを注視し、JAと連携

● 町営住宅の 建築計画

有吉 町営住宅の現状は、

町長 16団地二百戸を超え、3割が老朽化、改修も含め年度を定め、計画的に進めている。

有吉 後継者が町営住宅へ入居することで町営住宅のない地域がさびれる。各地区へ設置すべきでは。

町長 他の地区へ持つて行くことは避けたいが、集約化も必要である。

有吉 飯田には有効な町有地もあり、町営住宅として活用できないか。

町長 町有地有効活用計画の中で用地確保をした

有吉 飯田は要求も多い。飯田地区の計画はどうか。

町長 現在3ヶ所あり、平成30年以降の計画である。

● 減反政策の 成果と課題

有吉 我町の減反政策の実態は、

町長 作付可能面積



子育て世帯を対象にした北代住宅(4月入居開始)

を10%残す状況である。飼料作物、WCS(飼料稲)、重点品目など我町にとって政策における補助金は非常に有効であった。

有吉 集約化も厳しい中、今後の農業が不安である。町にあった政策が必要では。

町長 新たな農業政策は不透明であり、農家の不安は容易に解消できない。注視しながら周知徹底を図りたい。

その他、農道・水路等の現物支給事業の条件緩和。

少頭飼いの畜産農家への支援をすべき内容を執行部に質しました。

江藤 一幸



- ◆ 菅原発事業
関係者の理解は十分か……地元対応と建設は併行して
- ◆ 定住一万人実現可能か……新たな取り組みも必要

● 発電事業、 地元の同意は

江藤 菅原における

発電計画は地元や関係者の理解は十分なのか。

町長 関係する地元11行政区で事業説明を行う、その際、「建設には反対しない」とのことであり、地元不安要素の解消と建設計画は別々に対応することで進めている。

江藤 菅原との契約書は作成しないのか。

町長 将来的課題も盛り込んだ内容で早急に検討する。

江藤 源泉関係者の不安解消のための覚書が必要では。

町長 不安解消が重要。関係者による地元協議会を設置と聞く。相互理解にむけ努力していく。

江藤 益金の一部を基金に充てるとの事だが、目的は。

町長 地元や関係者の不安解消が第一の目的である。



菅原で計画されているバイナリー発電

● 定住一万人、 可能か

町長 相当に厳しいが、町民と共働りの中で、あらゆる政策に取組む。

江藤 成果を上げている自治体もあり、地場産業の振興が必要である。町長が提案したスローガンであり町長の思いや、考えはどうか。

町長 現在、実施している事業に加え、新しい取り組みが不可欠となる。農業の振興については販路の確保が重要である。

が重要である。

あたしのひとこと

町づくり協議会に期待

茅原小野

佐藤久仁夫さん



先、10年先を見据えて各地区が
たがいに地域の特徴を出しながら
進めて行けば、遠くない将来に地
域がもり上がって行けるのではな
いかと期待しています。地域のも
り上がり等によって人口減少が止
まるか、あるいは減少が少なく
なって行けば良いなあと思ってい
る。それには地域の人は勿論、行
政、議会、諸団体の方々の協力が
必要になります。皆さんの協力が
より、地域に活気の出る事を望ん
でいます。今後の町づくり協議会
の活動に期待しています。

2013年12月の広報によると
九重町の人口が1万368人と
なっています。前月より12人ほど
減少しています。このまま行くと
人口が一万人を切るのはあまり遠
くないかもしれません。そして少
子高齢化は今後も進んで行きそ
うです。私たちはその動きをじつと
見ているだけで良いのだろうか
と自問自答しながら何か妙案はな
いかなと思うが仲々見つかりませ
ん。
そんな中で希望が持てるのが、
今年度より始まった各地区まち
づくり協議会の活動に期待してい
ます。町づくりという事業は、す
ぐに目に見える結果が出ることは
大変むづかしいと思いますが、5年



野上地区まちづくり協議会「部長部会」の様子

緑陽中学校への想い

湯坪下

武田 清延さん



というのも私は、町内の他の3地
区のことをあまり知らないまま中
学を卒業してしまったので、悔やま
れるからです。
緑陽中学校の生徒のみなさん
は、友達を多くつくって町内のい
ろんなところに行つて九重町のこと
を多く学んでもらいたいと思います。
中学卒業後は、九重町で生まれ
育つた事を誇りに思い九重町を忘
れずに頑張つてほしいです。
最後に、統合により九重町4地
区の一体化が深まることを望みます。

私は湯坪に生まれ、湯坪小学校
を昭和36年3月に同級生39名と卒
業し、飯田小学校卒業生39名と朝
日小学校卒業生35名の合わせて1
13名で、昭和36年4月に飯田中
学校へ入学しました。
毎日、片道約5キロを歩いて通学
をしましたが、卒業する時同級生
は100名に減っていました。
数年前に少子化による生徒減少
等で、九重町内の3中学校の統合
と飯田地区は単独を選びました
が、昨年、飯田地区も少子化によ
り地区内の意見を聞きたいと区長
会のご尽力で再度話し合いの場がも
たれました。結論までは多くの時
間を費やしましたが、私は統合が
できてよかったと思っています。



緑陽中学校の体育祭風景

お詫び

前号(NO. 103)の同コーナー
飯田英吉さんの記事について挿入写
真の説明に誤りがありましたのでお
詫びいたします。

議会改革の第一歩

第5回 お出かけ議会報告

農業振興

問 米作の小規模農家は生き残れるか。

答 担い手の育成と集落営農の取り組みを進めていきます。

問 肉用牛（若返り）支援事業、小規模農家も対象に。

答 県の補助事業であるが、町の畜産振興策について執行部に質します。

問 町は農産物の地産地消を呼びかけているが、成果と今後は。また、農協との関連と取り組みは。

答 農協と共に取り組みをしています。さらに連携を進めていきます。

問 温泉を活用した農業の取り組みは。

答 町に即した作物を探し、温泉活用を進めていきます。

問 乾燥椎茸の価格下落、種駒の町の助成に県の助成を上乗せしてほしい。

答 椎茸栽培の経営は厳

しい状況であり、執行部に質します。

問 活き活きハウスの導入事業は。

答 少量多品目の野菜作り等を行う小規模ハウス、地産地消と農業活性化事業です。

問 有害鳥獣対策、電気柵の予約は。

答 申請方式であり予算の限度もあります。

問 農産物販売の方策は無いのか。

答 作物を作る補助金はあるが、販売の方策は今後の課題であります。

問 農協の直販は良い。今後、進めていただきたい。

答 町も農協と協力して進めて行きます。



観光振興

問 安心院町はグリーンツーリズムに取り組んでいる、町の取り組みは。

答 執行部とともに力を入れて行きます。

問 九重夢周遊バスの利用客に、農作業と収穫体験の取り組みはできないか。

答 利用者は少なく課題があり、町内の観光目的の周遊であり、観光課と協議します。



問 よからうバスの乗客が多いと聞くが、町の対応は。

答 町の停留所は豊後中村駅一か所です。観光客の受け入れ態勢を整えます。

問 筋湯地区の小松地獄が出された陳情は観光が商業か。

答 観光振興としての陳情です。

問 観光看板の整備は。

答 悪いところは改装しています。

商業振興その他

問 企業誘致はどのように進めているか。また、玖珠町の工業団地はどうなっているか。

答 町有地の見直し等を行い、雇用が安定的な企業誘致を執行部と取り組んでいます。玖珠町の工業団地の企業誘致は、今のところ無いと聞いています。

問 森林組合の跡地利用は。

答 当初は、企業誘致と

定住目的で購入しましたが、その後総合こども園の用地となっています。

問 伍代跡地の利用についてはつきりしてもらいたい。

答 執行部と協議中です。

問 こども園について、いつできるのか。

答 開園についての予定は、飯田こども園は27年度、総合こども園は28年度です。

問 スクールバスが四輪駆動車でない、なぜか。

答 四輪駆動車は製造して無いと、執行部の説明であります。

問 ケーブルテレビを地区外で有効活用できないか。

答 現状では難しいです。

問 町内の町営住宅の建設が、野上と恵良に偏っている。他の地域に建設は。

答 老朽化もあり、12月議会で執行部に質します。

問 民生委員の活動が近年多く、待遇改善を考えてほしい。

答 実情は理解しているが、他の職との兼ね合いもあり、執行部に質します。

問 県道の災害復旧はどうなっているか。

答 議会として、県に町の最重点項目として要望しています。

問 こども園の遊具は大丈夫か。

答 町で調査し、悪いものは撤去済みです。

新たな試み 商工会青年部との意見交換 若者の考えを町政へ

商工会青年部との 意見交換

『おでかけ議会』を開催して来たが、20・30代の参加が無く、新たな試みとして商工会青年部と意見交換をした。

青年部より、「ミヤちゃん妖精サイダー」開発と「婚活イベント」について報告。

議員より新商品開発について町内農産物を主原



料とした、歳暮・中元に使える商品開発を考えていただきたいと要望。婚活イベントは、人口減の歯止めにもなり、青年部に対し、今後とも継続するようお願いをし、行政に対しても一般質問で取り上げ『行政も柔軟に支援を』と指摘した。

部員から、「幼稚園と保育園の一体化の説明が無く不安」との意見も出た。

教育委員会へ経過説明をするように指摘、町報

12月号で説明報告するとの回答。その他の意見は、若者の働き場の確保、定住促進、子ども病院建設、ミヤちゃんを活用した地域活性化、スケートパーク建設、交通対策、子ども（小学生以下）の利用する公園設置等々多様な意見要望が出された。

今後、若者の意見を少しでも町政に反映するよう継続し、こういう場を計画して行きます。

傍聴へ どうぞ

次回は3月です

昭和3年 久大線中村駅開通式



大分新聞 昭和3年10月29日より

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集後記

◆ 11月のお出かけ議会で中学校が統合になり、中学生の姿が地域から消え寂しくなったという声が聞かれます。9月の緑陽中学校の体育祭、11月の全校生徒での合唱祭に参加しました。生徒、先生共に一丸となって新しい緑陽中学校の一ページを刻むんだという意気込みを感じる事ができました。地域は寂しくなったと思いますが、子ども達の生き生きとした姿を多くの人達に見てほしいと思います。

◆ 今議会に求められているのはチェック機能だといわれています。しかし本当に必要なのは将来を見据えた判断力です。町民の声が反映できる提言力のある議会になれたらと思います。

佐藤 博美

・ 広報委員長 日野 康志
・ 副委員長 佐藤 明郎
・ 委員 井上 里子
・ 委員 小川 克巳
・ 委員 佐藤 博美
・ 委員 池部 俊慈